

Explore the future

株式会社堀場製作所

2004年3月期中間決算説明会

代表取締役社長 堀場 厚

2003年11月21日

HORIBA GROUP

(C) HORIBA GROUP

説明内容

- 中間決算サマリー
- 業績通期計画
- セグメント別戦略
- 経営上の取組事項

説明内容

- 中間決算サマリー
- 業績通期計画
- セグメント別戦略
- 経営上の取組事項

2004年3月期 中間連結決算概要

P/L

中間売上高過去最高額を計上
経常増益、当期純利益 黒字転換
自動車用排ガス計測システム好調

B/S

資産・負債の圧縮
現金・預金減少、有利子負債減少
効率経営の推進

C/F

営業キャッシュフロー黒字計上
キャッシュフロー重視経営の継続

通期計画修正

売上高 830億円
経常利益 47億円

825億円
42億円

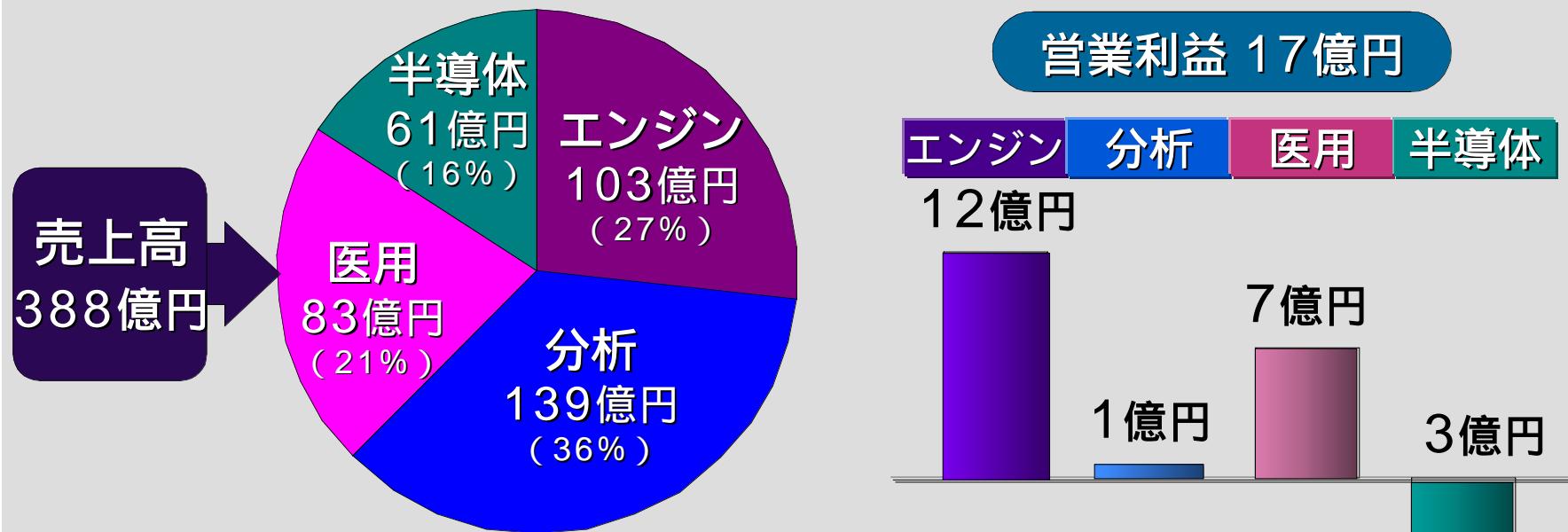
当期純利益 17億円
14億円

2004年3月期中間連結業績

	2003年3月期中間	2004年3月期中間		
	実績	実績	前期比増減	期初予想
売上高	365億円	388億円	+23億円 (+6.4%)	378億円
営業利益	18億円	17億円	1億円 (-6.0%)	19億円
営業利益率	5.1%	4.5%	0.6P	5.0%
経常利益	8億円	11億円	+3億円 (+31.7%)	10億円
当期利益	1億円	1億円	+2億円 (-)	0億円
ROE	0.4%	0.2%	+0.6P	-

セグメント別業績概要

セグメント別 金額・構成比



対前中間期比	エンジン	売上高 15.6%増	営業利益 34.8%増
	分析	売上高 7.8%増	営業利益 68.4%減
	医用	売上高 6.0%増	営業利益 2.7%増
	半導体	売上高 8.0%減	営業利益 赤字化

説明内容

- 中間決算サマリー
- 業績通期計画
- セグメント別戦略
- 経営上の取組事項

通期業績計画の背景

市場・外部環境要因

	日本	アジア	米国	欧州
エンジン	2003/2005年規制強化 メーカー設備投資堅調	中国市場拡大	2004/2007年規制強化 メーカー設備投資低調	2005年規制強化 ユ - 口高採算改善
分析	環境関連市場拡大 価格競合激化	中国市場拡大	ドル安による 採算悪化	2006年7月 WEEE、RoHS指令
医用	試薬販売堅調 価格競合激化	中国・東南アジア拡大	ドル安による 価格競争力低下	試薬販売堅調
半導体	市場回復の兆し	市場回復の兆し	市場回復遅れ	市場規模小

想定為替レート **U S \$ = 1 1 5 円 E U R = 1 3 0 円**
(従来予想) **U S \$ = 1 1 7 円 E U R = 1 2 0 円**

2004年3月期 連結業績通期計画

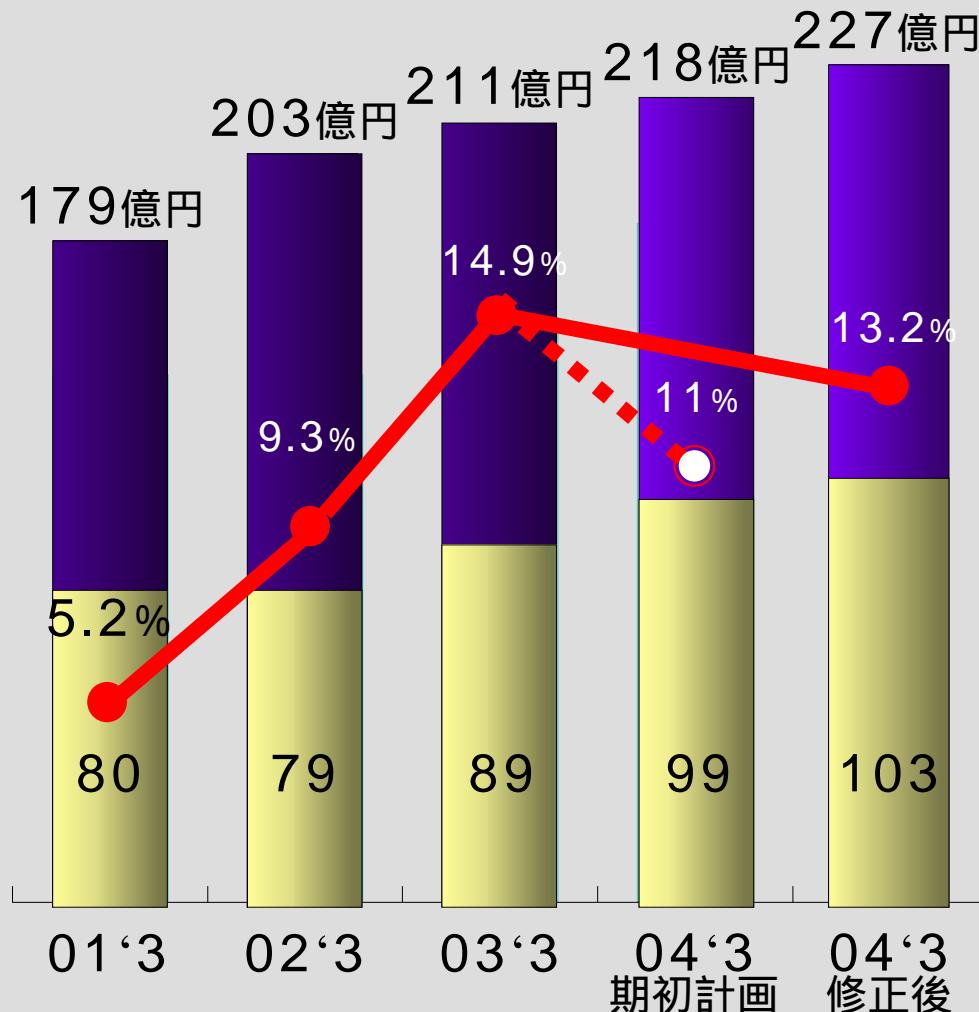
	2003年3月期	2004年3月期（計画）		
	実績	修正計画	前期比増減	期初予想
売上高	785億円	825億円	+40億円 (+5.1%)	830億円
営業利益	54億円	55億円	+1億円 (+0.5%)	60億円
営業利益率	7.0%	6.7%	0.3P	7.2%
経常利益	37億円	42億円	+5億円 (+11.5%)	47億円
当期利益	7億円	14億円	+7億円 (+78.2%)	17億円
ROE	2.0%	3.4%	+1.4P	4.2%

2004年3月期セグメント別業績予想

	売上高	前期比	営業利益	前期比
エンジン	227億円	+7.4%	30億円	4.7%
分析	287億円	+6.1%	8億円	+4.2%
医用	173億円	+8.5%	16億円	+15.1%
半導体	138億円	4.1%	1億円	39.6%
合計	825億円	+5.1%	55億円	+0.5%

連結セグメント別売上高・営業利益率推移

エンジン



■ 売上高 ● 営業利益率

中間決算実績

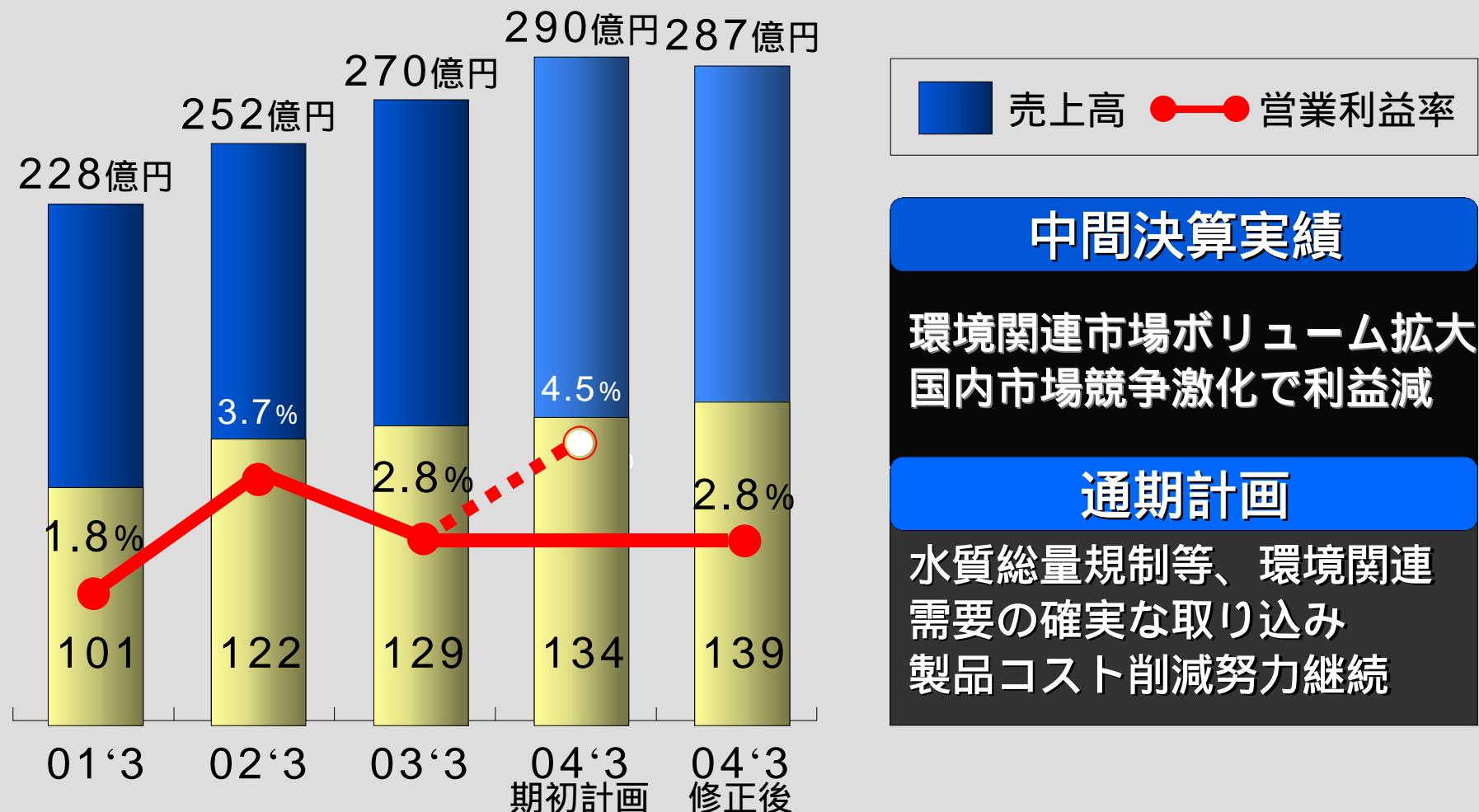
ディーゼルエンジン用排ガス
計測装置国内外販売好調

通期計画

自動車メー力設備投資堅調
中国市場向け大幅伸長
直販効果による利益率維持

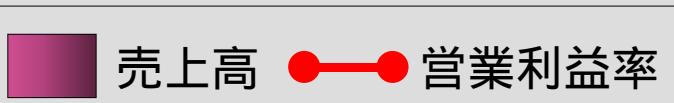
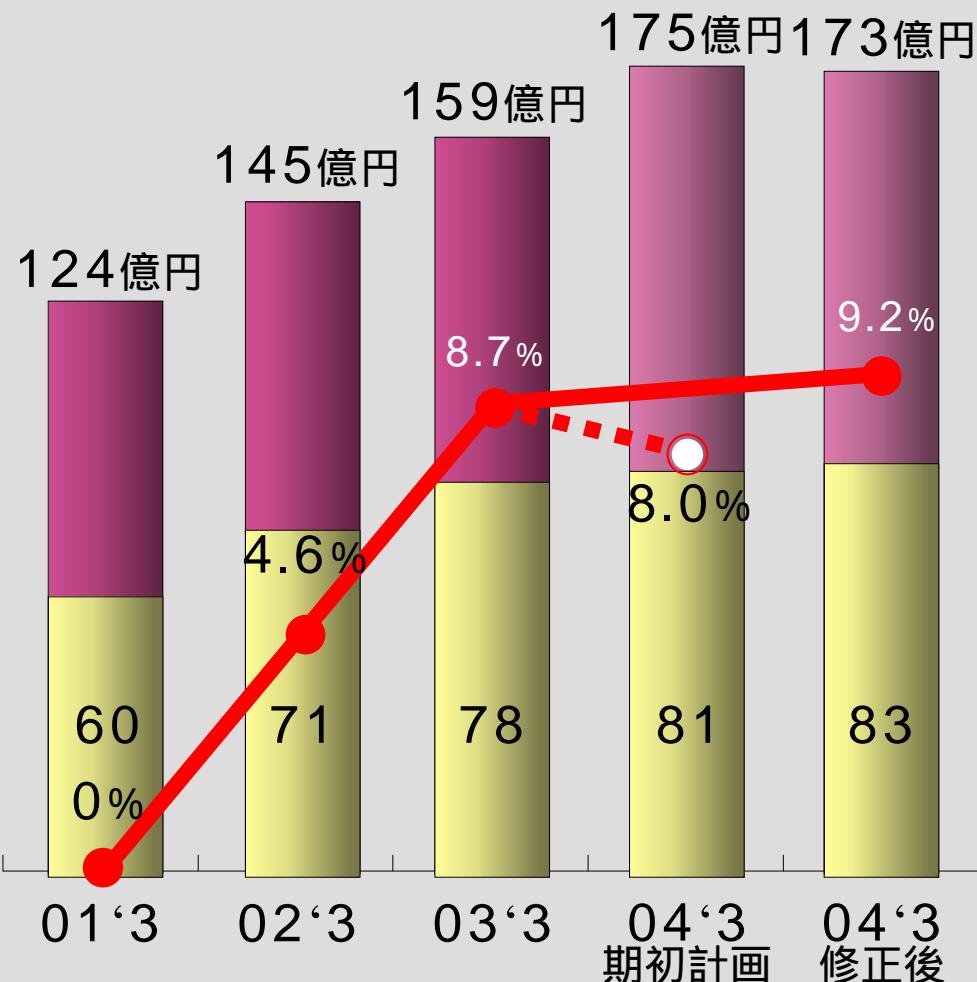
連結セグメント別売上高・営業利益率推移

分析



連結セグメント別売上高・営業利益率推移

医用



中間決算実績

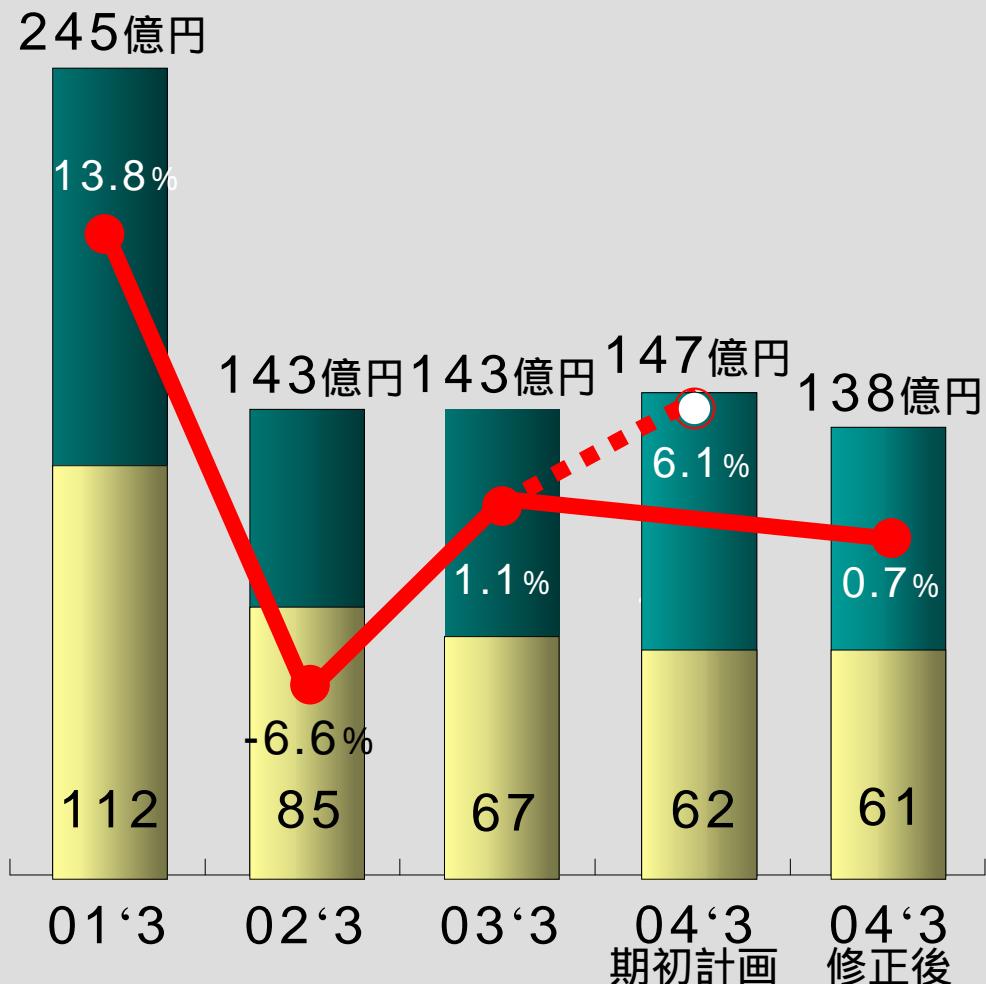
血球計数装置設置台数の伸びに伴ない試薬販売堅調

通期計画

中・大型機投入・販売に注力
ユーロ高による米国販売低調

連結セグメント別売上高・営業利益率推移

半導体



■ 売上高 ● 営業利益率

中間決算実績

市場回復遅れ
新製品開発投資負担

通期計画

300mm市場対応強化
新分野への開発投資抑制

説明内容

- 中間決算サマリー
- 業績通期計画
- セグメント別戦略
- 経営上の取組事項

計測・分析業界の売上世界ランキング2002

Over 1,000M\$

Applied Biosystems Group(米)

Agilent(米)

Thermo Electron(米)

島津

900 - 1,000

Amersham Biosciences(米)

Perkin Elmer(米)

800 - 900

Waters(米)

700 - 800

HORIBA

600 - 700

Millipore(米)

Invitrogen(米)

500 - 600

Apogent(米)

日立

400 - 500

Mettler-Toledo(スイス)

Varian(米)

300 - 400

Sartorius(独)

Thermo Finnigan(米)

200 - 300

ABB Analytical(スイス)

Bruker BioSpin(米)

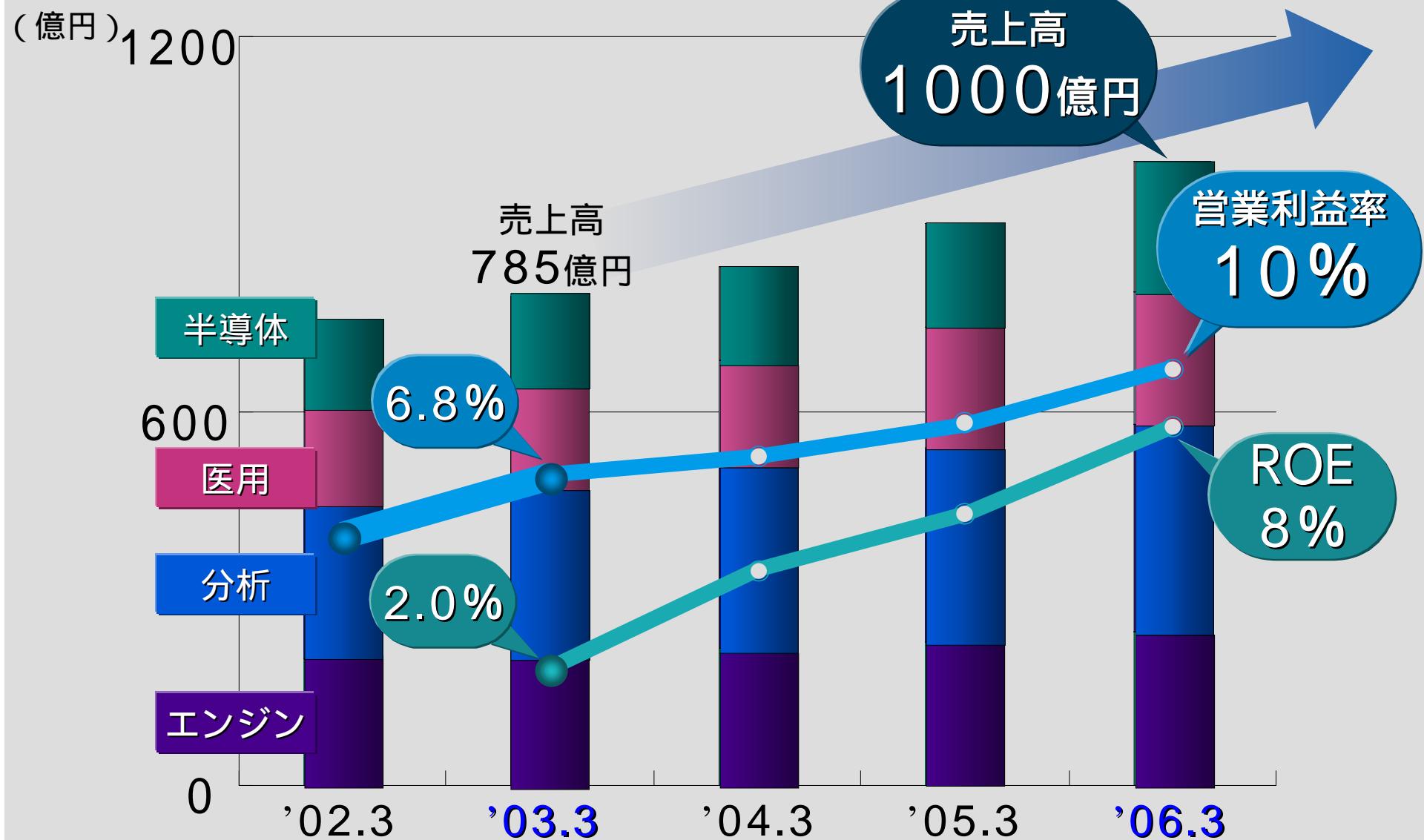
Cuno(米)

:

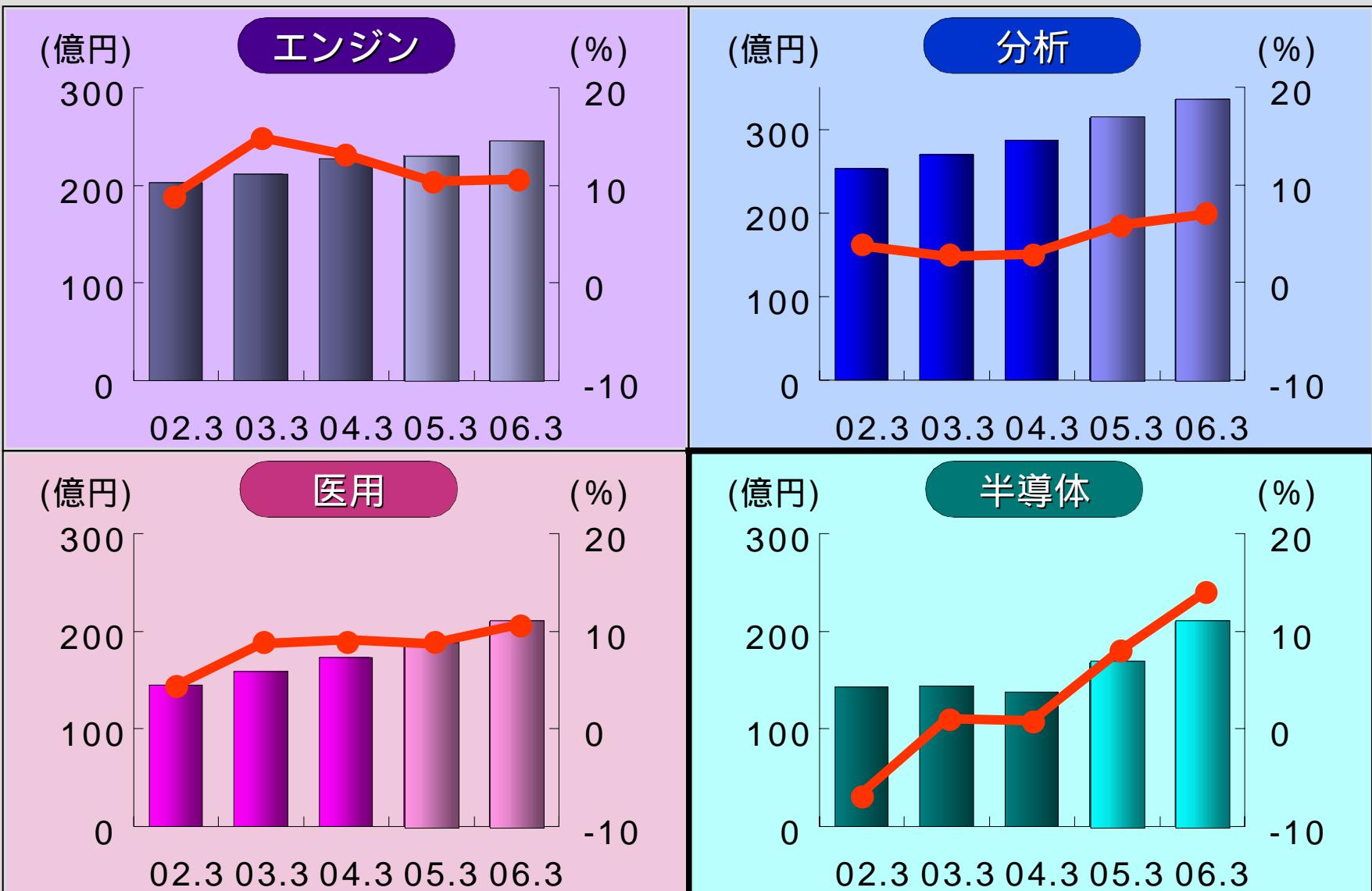
Eppendorf(独)

参考 Instrumenta 2002.5

連結売上高・営業利益率・ROE計画



セグメント別中長期計画



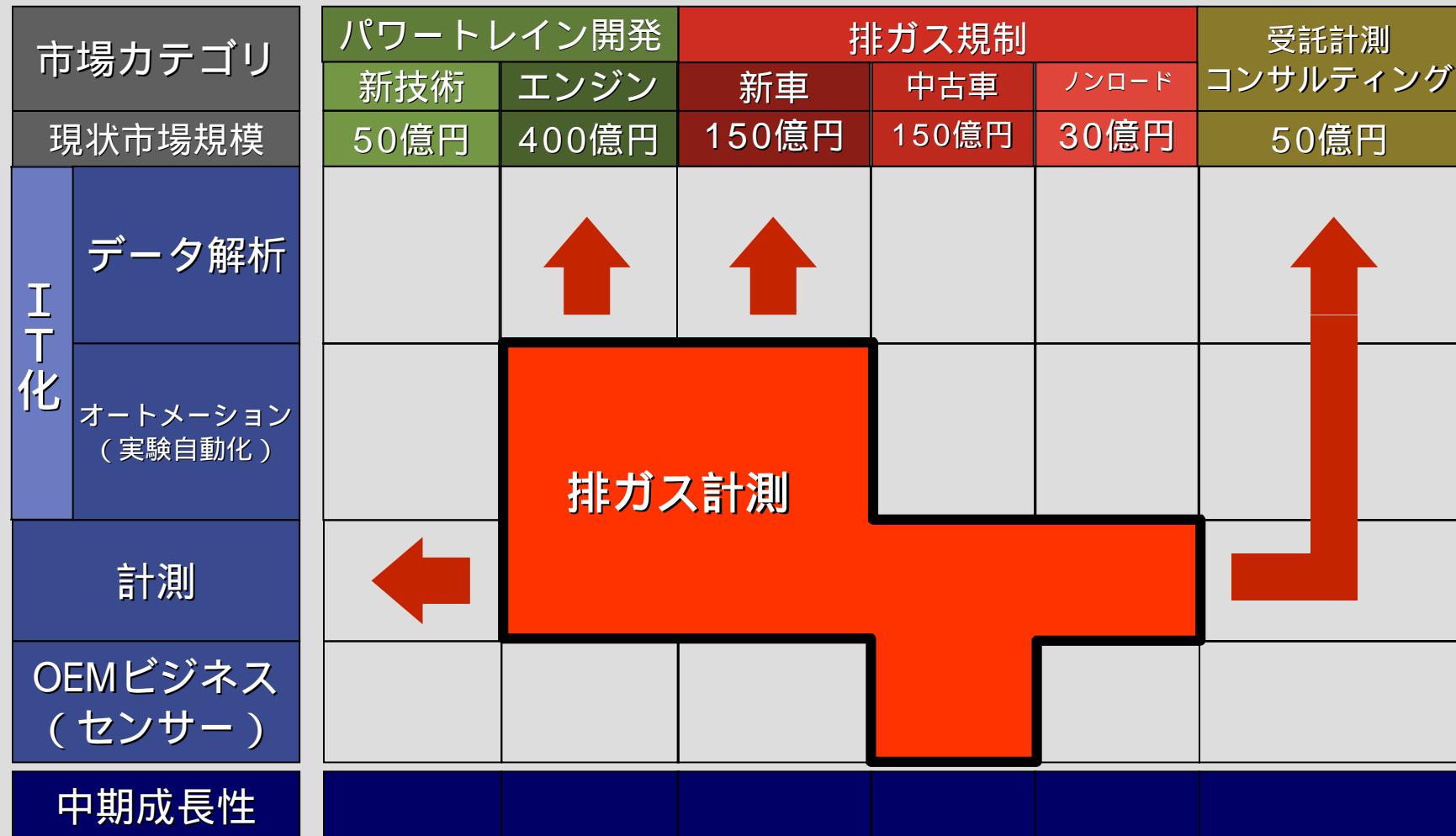
エンジン

排ガス計測の枠を超えて、より良いエンジン開発のために

主力
製品



エンジン排ガス測定装置



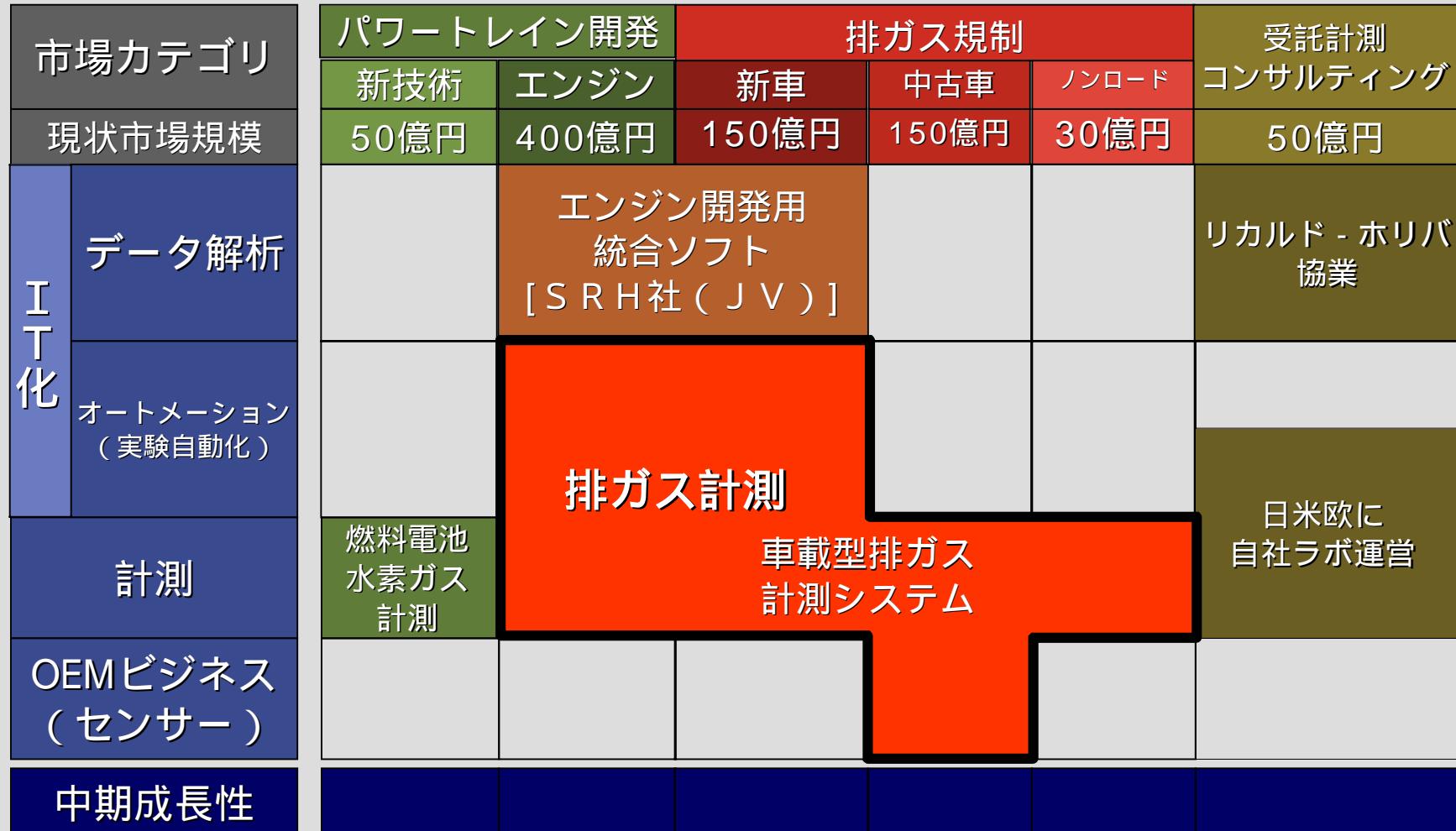
エンジン

排ガス計測の枠を超えて、より良いエンジン開発のために

主力
製品



エンジン排ガス測定装置



(市場規模は堀場製作所推計)

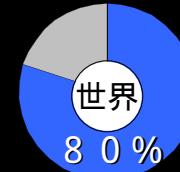
Explore the future

HORIBA

エンジン

排ガス計測の枠を超えて、より良いエンジン開発のために

主力製品



エンジン排ガス測定装置

自動車メーカーの経営効率向上に向けた取組み

独ダイムラー・クライスラー社向け排ガス計測トータルシステム納入

➡ エンジン開発実験の3倍効率化に寄与

排ガス規制関連ビジネスへの着実な取組

米国環境保護局（EPA） 超低濃度排ガス車用計測システム採用決定

車載型排ガス計測システム（実路テスト）

ノンロード（汎用エンジン）向け排ガス規制

船舶向けNOx規制導入決定（来秋法制化予定）

排ガス計測から新市場へ展開

燃料電池関連市場

自動車メーカーとの密接な関係によりヒット率の高い新製品を開発、市場へ投入
➡ 自動車用から汎用への展開

分析



ナノテク市場への積極展開

(堀場製作所)

売上規模 80 億円 / 年

主力
製品

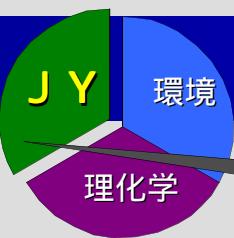


欧洲有害物質指令への対応

WEEE、RoHS対応新製品投入
シェア30%目標
(2003～2006年市場規模250億円)

新素材開発分野

触媒、電池材料研究用 等
ナノ粒子 元素分析 / 組成解析

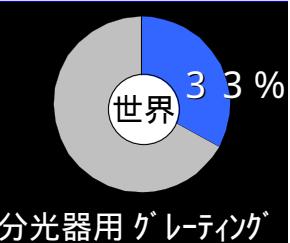


ナノテク市場への積極展開

(ジョバン・イボン社(仏))

売上規模 100 億円 / 年

主力
製品



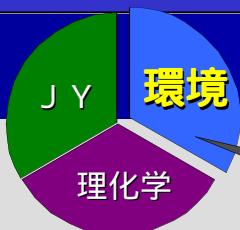
世界オンリーワンの分光技術

カーボン・ナノチューブ構造解析
投薬効果の細胞レベル解析 etc.

国内の拡販推進

ホリバ・ジョバン・イボン社合併に
より国内販売をパワーアップ

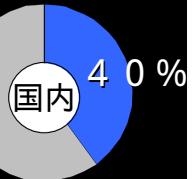
分析



環境計測市場への取組み

売上規模 100 億円 / 年

主力
製品



水質汚濁分析装置

中国市場への展開

環境モデル都市、重慶市で煙道排ガス分析装置大型受注獲得（約2億円）
中国全土への展開に弾み

第5次水質総量規制市場

2004年3月に排水モニタリング義務化
(東京湾・伊勢湾・瀬戸内海、2500カ所)
シェア40%を確保（市場規模約50億円）
競合による価格競争激化により利益圧迫

新分野

バイオ分野へ進出

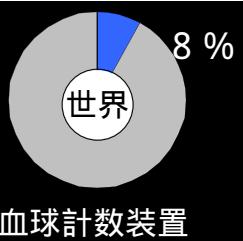
バイオセンサ技術の応用

農産物出荷安全検査用
残留農薬測定システム販売開始（7月）

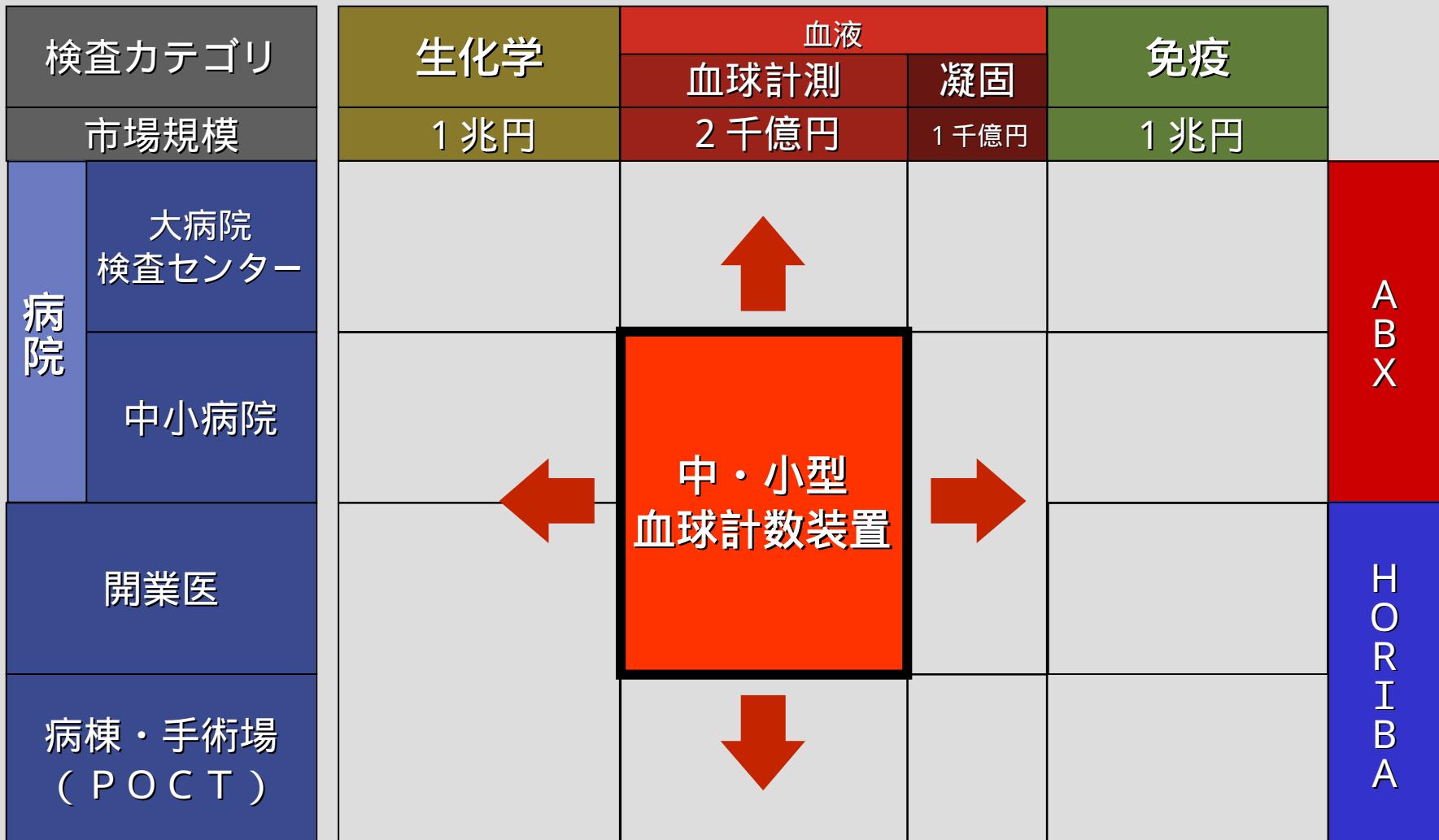
簡易な環境ホルモン計測システム開発

医用

主力
製品

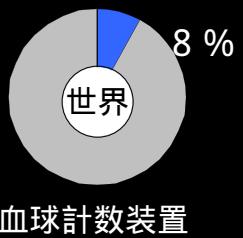


血球計測市場から生化学・免疫市場への展開



医用

主力
製品



血球計測市場から生化学・免疫市場への展開

検査カテゴリ		生化学	血液		免疫
市場規模			血球計測	凝固	
病院	大病院 検査センター	1兆円	2千億円	1千億円	1兆円
	中小病院	生化学分析装置 (ロシュ社: MIIRA 自社開発製品)	血球検査システム (自社開発)		
開業医	血糖値測定 (三共より譲受)	中・小型 血球計数装置	凝固試薬 (B I O P E P 社)	ぜん息薬測定 C R P 計測 (炎症検査)	H O R I B A
病棟・手術場 (P O C T)	小型生化学				

半導体

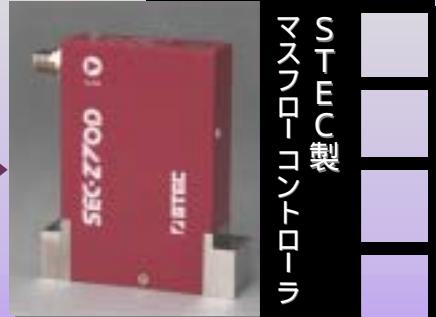
主力
製品



半導体プロセスチャンバー周辺のトータルソリューション

マスフローコントローラ

ガス



フガシティ社

圧力センサ技術取得
新型MFC開発

フェラン社製品

世界独占販売権取得

プロセスチャンバー

液体



気化器

排気制御バルブ

ター ボポンプ

ドライポンプ

Explore the future

HORIBA

説明内容

- 中間決算サマリー
- 業績通期計画
- セグメント別戦略
- 経営上の取組事項

今期の経営重点目標 ~ 企業価値向上を目指して

B/S、C/F重視の経営推進

キャッシュフロー創出のためB/Sの最適化追求
経営指標（ROE、ROA）の継続的な改善

グループ企業間のシナジー強化

グローバル準本社機能強化（日米欧3極体制）
グループ経営課題への迅速かつ最善の対応

投資効率の改善

成長・高付加価値分野への経営資源シフト
不採算事業のテコ入れ

財務戦略

キャッシュフロー/バランスシート重視 有利子負債削減

有利子負債額の推移

349億円
(2002.3)

332億円
(2003.3)

312億円
(2003.9)

200億円
(2004.3)
ターゲット

欧洲主要子会社（ABX / ジョバン・イボン）の借入金大幅減少
70 M.EURO (2002.3) 48 M.EURO (2003.9)

社債の償還状況

9・10月に手元資金で90億円償還済

社債残高50億円（2008年8月償還予定）

資金効率化のためコミットメントライン設定（50億円）

転換社債残高92億円（10月末現在、8億円転換済）

有利子負債削減目標 下半期 100億円

買収・提携戦略 ~大規模投資を伴なわない買収・提携推進~

既存の事業基盤強化に集中投資

エンジン

堀場製作所

エンジン開発コンサルティング（英・リカルド社）提携

分析

ジョバン・イボン（仏）

蛍光分析装置メーカー（英・IBH社）買収

医用

A BX（仏）
堀場製作所

試薬開発ベンチャー（仏・BIO-PEP社）買収
糖尿病検査装置事業（（株）三共）譲受

半導体

エステック（日）

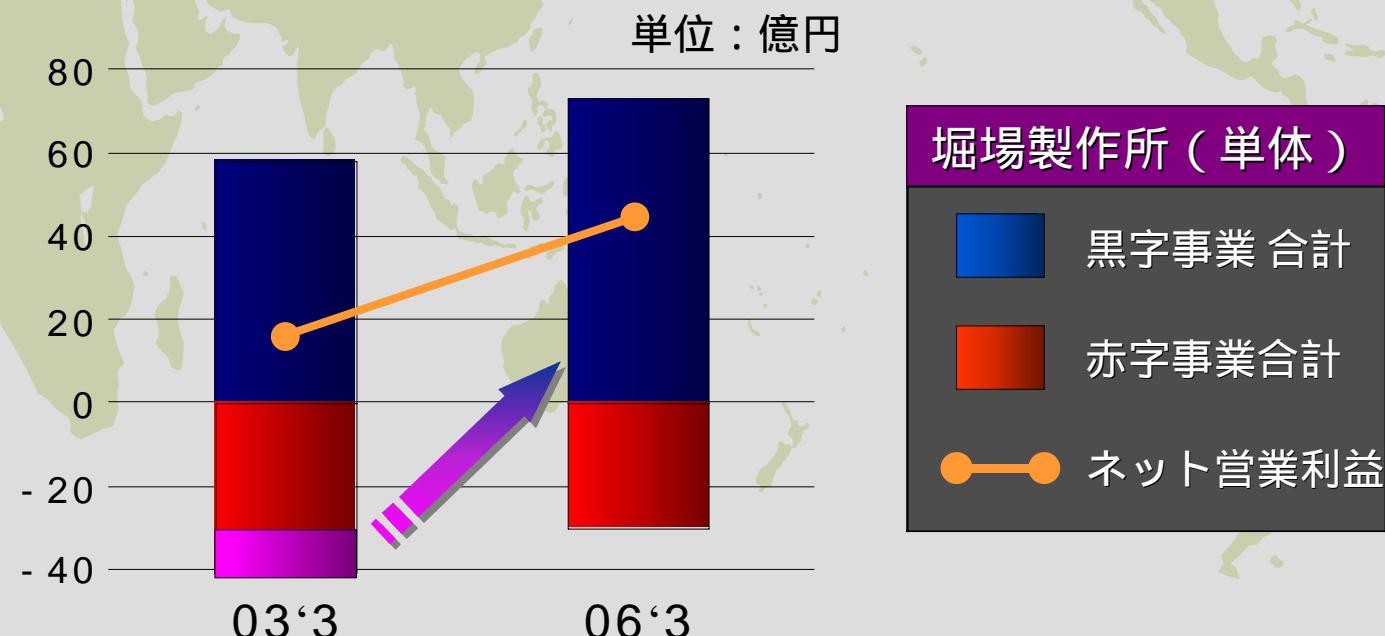
真空分析機器メーカー（米・フェラン社）技術・販売提携
精密流体計測・制御メーカー（米・フガシティ社）買収

ターン・アラウンド・プロジェクト発足

赤字事業の早期黒字化プロジェクト



損益へのインパクトが大きい不採算事業にリソースを集中させ収益力を改善する。



グループ企業間のシナジー効果を目指して

グローバルマネジメント会議開催（10月）

日米欧3極体制による企業統治

事業環境の変化に即応できる体制確立

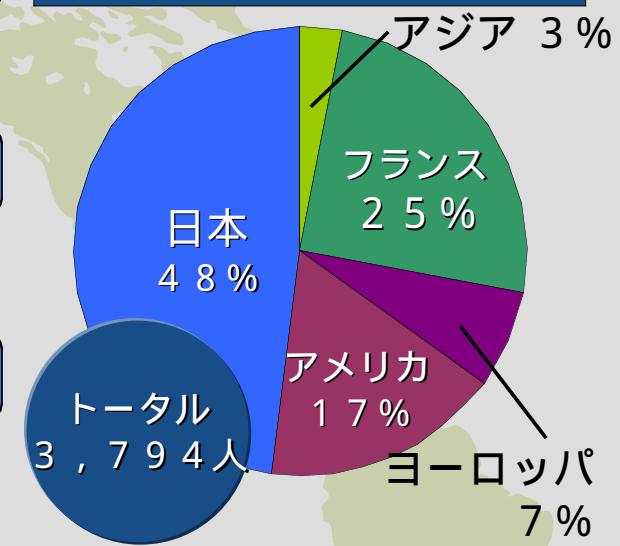
Executive Committee の設立

グローバル企業としてのグループ経営意思決定機関

「HORIBA」ブランドの価値向上

日本発分析メーカーとして世界に通用するブランド確立

HORIBAグループの従業員比率



創立50周年を機に、さらに「魅力ある企業」へ



Explore the future

HORIBA

END

免責事項

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。

これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知下さい。